

議会だより

あまぐさ

目次

特集 議会報告会を5年ぶりに開催しました	2～3
議長・年頭あいさつ	4
質疑あれこれ	5～6
委員会及び議員提出議案	7
請願・陳情	8
町政を問う 一般質問	9～13
委員会レポート	14
議員って何をしているの？	15

▲12月定例会初日
議場にて
(関連記事 P.16)



大口町議会
ホームページ

No.243

令和7年1月23日
発行：愛知県大口町議会

5年ぶりに開催しました

政策提案につなげるべく、調査・研究を行ってまいります。

当日の内容

- (1) 開会あいさつ
- (2) 議長あいさつ
- (3) 第1部 議会報告会
 - ・ 議会の概要
 - ・ 総務建設常任委員会報告
 - ・ 文教福祉常任委員会報告
- (4) 第2部 防災講座
題目 大口町の災害の歴史
講師 大口町歴史民俗資料館
学芸員 西松賢一郎氏
- (5) 第3部 議員との座談会
防災をテーマに6つのグループ
に分けて意見を伺った。
- (6) 閉会あいさつ

参加者数

町民37名 議員15名

令和6年度 大口町議会報告会
同時開催 防災講座と座談会

日時 2024年
10/12 14:00~15:45 (13:30 開場)
年齢問わずどなたでも参加できます

場所 健康文化センター4階 ほほえみホール

議会報告会 14:00~14:25
なぜ、そう決めたのか
定例会等でその議案にまつ経緯等を説明し、
令和6年1~9月の議会活動を中心にご報告します

防災講座 14:30~15:05
大口町歴史民俗資料館 西松賢一郎 学芸員による
「大口町の災害の歴史」
過去にどんな災害があったのか過去を知り、今を振り返りましょう！
自分のために、家族のために

学ぼう 歴史から 話そう 議員に

座談会 15:10~15:45
テーマは「防災」
大口町は安全安心なの？ 子どもたちを守るの？
今地盤がどうなっている？
議員を交えて、グループで話し合おう

議会報告会のみ、防災講座のみ、座談会のみも参加可能
なお、座談会は、事前に申し込みが必要です
締め切り10月4日(金) 先着50名
こちらのQRコードから
または
議会事務局まで お申し込みください

お問い合わせ/議会事務局 電話:0587-95-1702 (開庁日の8:30~17:15)

10月12日(土)
健康文化センター4階ほほえみホールにおいて
「こんにちは大口町議会です」
令和6年度 大口町議会報告会を開催しました。

〈第1部 議会報告会〉



総務建設常任委員会の報告内容(抜粋)

- 令和6(2024)年度の活動
「地域まるごと防災」
地域と企業が一体となる防災についての調査・研究
- 議会提案で実現した事業 役場南ひろば整備
- 防災の課題解決へ
合瀬川の越水、氾濫対策
平成29年に起こった集中豪雨による水害
↓
合瀬川の拡幅を含む整備事業へ



文教福祉常任委員会の報告内容(抜粋)

- 令和6(2024)年度の活動
「予防福祉」による健康生活
- 国民健康保険の課題解決へ
「国民健康保険の国庫負担を引上げ、国民健康保険制度の財政基盤の一層の強化を図り、十分な被保険者支援を行うこと。」
の意見書を令和6年9月25日に採択し提出した。

みなさまとの対話中心の 議会報告会を

みなさまからのご意見については、議員の一般質問や委員会等の

〈第2部 防災講座〉



西松学芸員からは

『大口町も過去には震度5以上の地震が起こり、被害を受けている。また、大きな水害も経験している。過去の災害を紐解くと、大口町域でも犠牲者は少ないものの、家屋の全壊・半壊が全戸数の過半数以上に及ぶことがあった。現代では、ライフライン（電気・ガス・水道）が一定期間止まってしまう。「日頃の備え」がいかに重要か、地震をはじめとした自然現象は地球の新陳代謝のようなものであり避けることはできないので、いかに付き合っていくかが大切。命や財産を脅かすから災害となる。減災に努めることが大事。』などのお話がありました。

〈第3部 議員との座談会〉



みなさまからいただいた主なご意見です

防災備蓄について

- 大口町として備蓄は何日分あるのか。また、それは、何人規模を想定した備蓄か。
- 自宅で避難生活を送るとなった場合、どれくらいの備蓄が必要か。
- 災害を止めることはできないが、日頃からの備え、訓練、人とのつながりをつくる取り組みから減災が大事であると思う。
- 普段のときは、防災は無駄なコストと思うが、いざ災害というときには必要。そのことを、町民のみなさんが知らないと思う。

高齢者・障がい者 対応について

- 災害時、高齢者や障がい者などの方々のリストを作って、そういった人たちを助ける仕組みが必要ではないか。

避難体制について

- 避難所の場所は分かるが、道路の分断などでそこまで辿り着けない場合もあるのではないかと。町には、その辺りまで考慮してもらいたい。
- 避難所の前に一時退避できる場所を作ってもらえないか。
- 日頃から訓練をやっていないと行動に移せないため、大口町全体で防災訓練を定期的に行っていただきたい。
- 一度、実際の体験の必要性を感じる。小さい子どもを連れたサバイバルお泊り会等があったら良いと思う。車中泊等も体験させられたら良い。

防災広報について

- 大口町の防災対策について、初めて知ったことが多かった。もっと町民に周知・PRをして欲しい。
- 「広報おおぐち」は見ているので、知っておかなければならない内容を、毎号掲載して欲しい。そうすれば、どの「広報おおぐち」だったかとか、探す必要はない。
- 高齢者には、LINEとかFacebookの情報を見てといわれても、細かい字の羅列で見える気がしないので、冊子は、情報が古くならないよう、毎年改訂版を出して欲しい。防災に関する冊子の字は大きくしてもらい、高齢者が読みやすい工夫をして欲しい。



ホームページも
ご覧ください

ありがとう
ございました

年頭あいさつ



大口町議会議長

江口昌史

町民のみなさまにおかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より、本町議会に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は地域イベントや交流事業が活発化し、町内には多くの笑顔が溢れる光景が見られました。その一方で、度重なる台風や豪雨など、気候変動の影響と思われる自然災害が各地で発生し、本町においても防災意識をさらに高める必要性が改めて認識された年でもありました。また、物価高騰が続く、生活への負担が重くのしかかる状況も続いています。議会としてこれらの課題に向き合い、町民のみなさまが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、執行機関とともに知恵を出し合いながら取り組んでまいります。また、地域の未来を見据え、次世代へ誇れる町の基盤づくりに努めてまいります。

結びにあたり、みなさまにとりまして、本年が希望に満ちた素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

定例会で全議案可決

第9回 定例会 11月29日～12月19日 17議案、1諮問、1同意

提案された議案は、賛成多数で可決しました。

議案 第52号	大口町国民健康保険条例の一部改正について
議案 第53号	大口町刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
議案 第54号	大口町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
議案 第55号	大口町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案 第56号	大口町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
議案 第57号	大口町下水道条例の一部改正について
議案 第58号	令和6年度大口町一般会計補正予算(第7号)
議案 第59号	令和6年度大口町国際交流事業特別会計補正予算(第1号)
議案 第60号	令和6年度大口町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案 第61号	令和6年度大口町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案 第62号	令和6年度大口町介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案 第63号	令和6年度大口町下水道事業会計補正予算(第1号)
議案 第64号	第7次大口町総合計画の計画期間延長について
議案 第65号	専決処分(大口町一般会計補正予算(第6号))の承認を求めることについて
議案 第66号	大口町道路線の認定について
議案 第67号	大口町道路線の変更について
議案 第68号	道路改良工事(週休2日)の請負契約の変更について

質疑 あれこれ



本会議及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑です。

補正予算

令和6年度大口町一般会計補正予算(第7号)

一般会計の歳入歳出それぞれ3015万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ113億7173万8千円とする。

総務費

問 住民票等のコンビニ交付が増えている。それにより窓口業務が減っていると考えるが、現状は、また、コンビニ交付の1件あたりの手数料は。



答 窓口取扱件数は減少しているが、マイナンバー関係の手続きが増加

しており、窓口業務における目に見える負担減少は現れていないと認識している。また、1件あたりの手数料は、117円となっている。

問 コミュニティバス事業、印刷製本費追加28万2千円について、時刻表の印刷との説明だが、当初予算での発行部数と今回追加の発行部数は。また、以前は全戸配布だった時刻表は、現在はどうのように配布をされているのか。

答 当初、令和6年度は5千部の発行予定だったが、ダイヤ改正の影響もあり、2千部を追加印刷した。来年度は、5千部印刷を予定している。また、配布方法については、役場をはじめとする公共施設、近隣駅、さくら病院などでの配布をしており、次年度も現行どおりの予定。



※時刻表は「マイ時刻表」作成サービスを行っています

問 財産管理事業で50万円の修繕料追加。その内容は。

答 宿直室にある防災監視盤のバッテリーと、防火シャッターのバッテリー交換の費用である。

問 活動団体支援事業補助金100万円について「チームダッシュ」とあるがその内容は。

答 来年、愛・地球博記念公園で開かれる『愛・地球博20祭』において、メインステージで「チームダッシュ」のショーを予定している。補助金については、ダッシュマンの衣装がボロボロの状態なので更新するために使わせてもらう。ダッシュマンは、これからもみなさんに元気を届ける活動をしていく。

民生費

問 低所得者向け物価高騰対応重点支援給付金給付事業6030万円減額の理由は。

答 今回は、6月3日現在で新たに非課税世帯又は均等割のみ課税になった世帯に10万円と、その世帯に18歳以下の児童がいる場合に1人5万円給付した。非課税世帯500件の見込みが166件、均等割のみ課税世帯300件の見込みが126件、対象児童を240人の見込みが50人分の支給となったため。

問 障害児通所給付費等追加2100万円について、その内容は。

答 就学前の障害児等が通う児童発達支援、小学生から高校3年生までの年齢の児童が授業後等に通う「放課後等デイサービス」を利用する児童が

増えている。令和5年度上半期と令和6年度上半期を比較すると1.3倍に増加。そこから予想される増額分2100万円を計上した。

問 保育園施設管理事業、園舎日常追加60万4千円は、何園分の補正か。また、この追加の委託業者の契約形態は。

答 公立保育園3園分を追加補正した。委託についてはコミュニティ・ワークセンタールに請負で契約している。



衛生費

問 感染症等予防933万9千円追加。子宮頸がんワクチン増との説明だが当初見込みと追加数は。

答 当初定期予防接種対象を312回、キャッチアップ接種対象を310回、合計622回の見込みとしたが、9月時点で470回の接種者数になった。このことから後半の伸びを考え、見込みとして750回を追加した。

商工費

問 桜まつり事業、新能映像配信として14万1千円の追加の理由は。

答 長期間確実に保存できるように、また今後シティブロモーション事業など、さまざまな機会を捉えて活用できるよう、加工や複製が可能な映像データとして納品してもらうため。

土木費

問 道路維持管理費504万6千円追加について、御供所のゾーン30プラス整備とのことだが、その内容及び実施に至った経緯は。

答 今までのゾーン30の区域を、交通安全の向上を図ることを目的にゾーン30プラスと指定するもので、全国では192箇所を実施しており、先進地の検証結果では、時速30kmを超える車の割合が47%から28%に減少したとのこと。

今回の整備では、両面のゾーン30プラス表示看板を17箇所設置、路面標示を15箇所行つた。

なお、実施の経緯は、平成26年から生活道路と通学路の安全対策及び抜



け道対策として、警察・地域と協議して進めてきた結果によるものである。

消防費

問 当初予算で計上されていた防火水槽撤去工事費308万円の減額理由は。

答 この防火水槽は、会社所有地内に町が設置しているもので、新たな施設の建設予定があるとのことで撤去の要望があったが、施設建設が見送られその予算計上分を減額することとなった。次年度においては、当初予算計上はせずに、状況によっては補正で対応したい。

また先行撤去も考えたが、昨今いつどこで何が起きるか分からない状況なので、利用できる間は利用していく考えである。

教育費

問 3校合算した小学校電気代と1校の中学校電気代が酷似した金額だが、その理由は。

答 小学校では太陽光発電設備のある学校もあり、そこから一部の電力を賄うなど電気代が抑えられていると考えられる。また、学校として使っている時間帯の違いもある。中学校は長い時間使っているので電気代が高くなっている。

条例改正

大口町国民健康保険条例の一部改正について

問 罰則（過料）の説明と罰則が適用される具体的な例を挙げてほしい。

答 過料は、金銭罰となり法的には「行政罰」となる。罰則の規定として3つある。第13条、偽り等で過料の徴収を免れた者、第14条、世帯主が加入、脱退の届出をしなかった、もしくは、虚偽の届け出をした場合、第15条、世帯主等が正当な理由なしに文書提出等をし

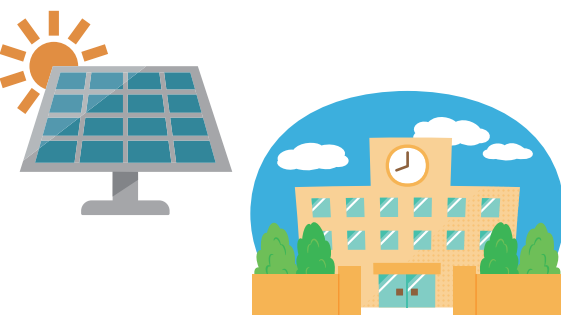
なかった場合などである。
問 昭和33年に施行された条例だがその時点で過料10万円だったのか。本町でその事例は。

答 昭和33年時点の額は不明だが、過料の金額は国民健康保険法で定められており、その法律に則り本町の過料額は決められている。過去に本町で過料を課した事例はないと認識している。

大口町刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

問 刑法等を改正する法律の条文改正、懲役刑と禁錮刑を「拘禁刑」に一本化するとのことだがその理由は。

答 実際には、禁錮刑の受刑者も刑務作業をしており、懲役刑、禁錮刑での差がなくなっているため、拘禁刑として整理された。



◆請願第9号について

採択に賛成

江幡議員

本請願が本町に求めていることは、国や県に対して意見書を出すことである。何度も意見書を出すことは、結果として福祉向上へと繋がるものと考え

討

論

(抜粋)



採択に反対

酒井議員

本請願内容には、本町では他自治体に先駆けてすでに取り組まれているものが多数あり、意見書を提出した内容もある。しかしながら、本請願の全体的内容を達成するには財源確保等さまざまな課題もあり、内容の精査も必要となるため、採択には反対である。

委員会及び議員提出議案

12月定例会では、委員会および議員による議案2件提出をしました

本会議



議案

議案の提出

議案には、町長が提出するものと、**委員会**が提出するもの、**議員**が提出するものがあります。

提出された議案は、本会議で内容や提案した理由について提出者から説明されます。

委員会



議案

委員会提出議案第3号

大口町議会の個人情報の保護に

関する条例の一部改正について

○改正理由

令和7年6月1日に施行される刑法等の一部を改正する法律により、拘禁刑が創設されることに伴い、関係条例の一部を改正するため必要があるからである。

○改正の内容

「懲役」及び「禁錮」を廃止し、これらに代えて「拘禁刑」を創設することなどの内容となっている。

議員提出議案第6号

「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書提出について

○意見書要約

誤判により生じたえん罪に苦しむ者やその家族が救済を待ち望んでおり、速やかな再審法改正が求められている。その要因は、再審の手続きを定める法律の規定が不十分であり、再審手続きの長期化等を生み出しているという点にある。このような状態は、速やかに改善されなければならない。

大口町議会は、国に対し、再審申し立ての手続法について規定する法的整備を行うことを強く要望する。

全員の賛成をもって可決し、国に対し、12月定例会閉会日の12月19日付けで、意見書を提出しました。



意見書とは

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。
地方自治法第99条には、「普通地方公共団体の議会は、この普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されており、具体的には、議員が発案して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出します。

請 願・陳 情 みなさんの声を慎重審議！ 議会の意思は

要望を町・県・国に伝える方法として「請願」「陳情」があります。みずからが町議会に提出し、これに対して議会は、採択・不採択等の意思表示をします。

●請 願 ※請願は、議員の紹介が必要

号	内 容	提出者	本会議採択結果
9	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	愛知自治体キャラバン 実行委員会 代表者 森谷 光夫	賛成少数により 不 採 択
10	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の採択を求める請願	国民救援会 尾北支部 支部長 矢田 強一	賛成全員により 一部採択

●陳 情 ※陳情は、議員の紹介は不要

号	内 容	提出者	常任委員会採択結果
20	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	文教福祉常任委員会において 聞き置く
21	「地元自治体との連携による商工会支援体制の強化と地域商工業振興に対する施策の拡充」陳情書	愛知県商工会連合会 会長 新美 文二 大口町商工会 会長 舟橋 浩司 他3名	総務建設常任委員会において 趣旨採択



説明します

みなさんからの請願・陳情は、本会議提出後、慎重に審査するため所管の委員会に付託・送付したのち、請願は本会議で審議を、陳情は委員会で審査をし、採決します。

結 果

- ① 採 択…願意が妥当で実現性もあるなどの理由から、過半数の委員が判断したもの
- ② 一部採択…一部に賛成し得る項目や文書の前段、後段などの部分があった場合、その部分を指定して採択すること
- ③ 趣旨採択…願意は理解できるが実現性に乏しいときなど、採択には至らないものの趣旨には賛同できること
- ④ 不 採 択…願意どおり実現すべきものと過半数の委員が判断しなかったもの
- ⑤ 継続審査…引き続き審査をする必要があると判断されるもの
- ⑥ 聞き置く…聞いて心にとめるもの



☆請願・陳情提出期限

請願・陳情の提出には
締切日があります。
ご希望される方は、提出期限をご確認の上、役場3階議会事務局へご提出ください。



審査結果はこちらから
ご覧いただけます

上程する定例会	提出期限
令和7年 3月定例会	2月14日
〃 6月定例会	5月15日
〃 9月定例会	8月15日
〃 12月定例会	11月14日



町政を問う

8議員が質問

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



一般質問とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。各議員の質問は、YouTube動画でご視聴いただけます。

議員名(通告順)	質問事項	ページ
酒井 一平	大口町小学校における通学の安全確保について 他2問	9
佐名 かよ子	災害対応力の強化について 他2問	10
鈴木 和江	堀尾跡公園・小口城址公園について 他1問	
仙田 王ー	スマートフォン講習会と今後について	11
江幡 満世志	補聴器購入助成を実施せよ 他3問	
宮川 基英	人生100年時代に向けて 他1問	12
大竹 伸一	本町の小中学生における不登校の現状と課題について 他1問	
丹羽 勉	令和7年度の予算編成について 他2問	13

小学校通学路の安全確保

危険個所が何年も改善されない理由は

部長要望ごとに解消に向けて協議を実施

酒井 学校やPTA、地域協力の見守り、付添いボランティア活動の現状と、危険個所への対策の現状は。

生涯教育部長 児童

の登校時、教職員は勤務前だが、児童が元気に登校することを願い、自主的に学校周辺の交差点等へ出かけて見守りを行っている。なお、集団登下校の見守り実施は、通学班編成に係る保護者からの要望の調整、児童が一緒に行動することによる児童間のトラブル、家庭の都合で保護者が送迎するなど、児童の安全確保を担う上で、全国的な検討課題となっている。

酒井 危険個所を毎年保

護者に対しアンケート調査しているが、同じ個所が何年にもわたって、なかなか改善されていない理由があれば教えてほしい。

生涯教育部長 本町

では、通学路安全推進会議を設置しており、毎年、保護者と教員が通学路の危険個所を確認して、情報に係る機関で共有し、改善に向け検討・対処している。しかし、改善については、すぐに対応できるものから時間を要するもの、非常に難しいもの等が混在しており、すべての要望が解消されることはほぼ不可能だと受け止めざるを得ない。

本年度、PTAから出された危険個所改善要望を、新規と継続に振り分けた。今後はそれぞれの



さかい いっぺい
酒井一平 議員

要望ごとに、まずは解消に向けて協議を実施し、実現可能なものはその時期の目的、難しいものはその理由、場合によっては、通学路の変更も視野に入れる等、対処方法や結果を明確にし、関係者間で共有したいと考えている。



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(酒井議員)

災害対応力の強化を求める

要配慮者福祉避難所の体制整備は

部長 中央公民館の利用も検討

佐名 災害が発生した際に被災者一人ひとりの状況や課題を把握し、必要な支援を行う取り組みとして「災害ケースマネジメント」がある。本町においても災害ケースマネジメントの実施に向けた取り組みを進めてはどうか。

地域協働部長 福祉避難所を含めた避難所への避難方法等について、現状と課題の洗い出しを行っている。その中で、福祉避難所に中央公民館の利用も検討していかなければならないと考えている。



さな かよこ 議員

すかる」活動を行っている。他市町の事例などを参考に検討していく。

佐名 感震ブレイカーは地震の火災を未然に防ぐために有効な対策である。感震ブレイカー補助金制度創設についての考えは、

佐名 感震ブレイカーは地震の火災を未然に防ぐために有効な対策である。感震ブレイカー補助金制度創設についての考えは、

地域協働部長 被災した方の自立、生活再建に有効な手段であるため、国・県からの情報を注視するとともに、他市町の事例を研究していく。

佐名 避難所生活支援において、「一般社団法人こども女性ネット東海」は、女性、こどもの視点から大変有益と考える。協定に向けて進めてはどうか。

地域協働部長 愛知県が補助金制度を創設していくことが決定し、補助の効果が期待できると判断した場合には検討したい。

佐名 要配慮者の福祉避難所への直接避難できる体制整備を求め、令和3年度定例会で質問した。その後の進捗状況は、

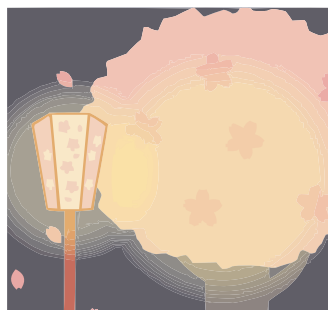
地域協働部長 「一般社団法人こども女性ネット東海」は、緊急時、災害時に声を上げにくい妊婦、乳児、こども、女性の命を守るため、通常時から防災、減災等「た

その後の進捗状況は、



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(佐名議員)



堀尾跡公園・小口城址公園について

堀尾跡公園に目を楽しませるものを

部長 ライトアップを行っていく

鈴木 堀尾跡公園に皆さんの目を楽しませる、良いアイデアはないか。

鈴木 堀尾跡公園の説明や、ふれあいまつりの歴史コーナーを開設しているボランティアガイドの活動状況は。

建設部長 さくらまつり五条川ライトアップと同様に堀尾跡公園においてもライトアップを行う。

生涯教育部長 今年度よりグループ活動は休止しており、一部のメンバーが依頼を受けた際に個々で活動をしている。歴史ボランティアの場合、ガイドする件数が少ないなど、ガイドのみでは活動継続するのが難しいと思われるので、例えば、ボランティアの方々と、ガイドに関する生涯学習講座などを一緒にを行い、ガイドの人と相談して取り組んでいければと考える。



すず きかず え 鈴木和江 議員

鈴木 小口城址公園のプロジェクトが壊れている。修理の計画は。

建設部長 現在のプロジェクトは25年使用していて修理は不可能と考えており、費用対効果や来館者の分かり易さなど小口城址公園の歴史案内が出来るよう、堀尾跡公園と同様にQRコードを利用するなど検討中である。



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(鈴木議員)

デジタル推進の今後は

**事業の継続と職員のスキルUPは
部長研修を含め調査研究していきたい**

仙田 今回実施した「スマートフォン講習会」開催の背景と参加者の結果は。

で、講座別では「メッセージアプリを使おう」が述べ28名で最も多かった。

仙田 継続の予定は。

総務部長 今回は総務省が補正予算により実施した事業であり、対応する人員など、町単独での実施は難しいところがある。今後も事業継続されれば利用していきたい。

は総務省が補正予算により実施した事業であり、対応する人員など、町単独での実施は難しいところがある。今後も事業継続されれば利用していきたい。

総務部長 これまでは計画的な育成や採用をすることはなく、職員個々の資質によるところが大きかった。デジタル社会の実現に置いていけないよう、今後は人材の育成、人材確保に対する取り組みについての調査研究を考えている。



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(仙田議員)



せん だ きみ かす
仙田王一 議員

補聴器購入助成を実施せよ

**買い換えの際にも助成を
部長補聴器相談医などによる診断を検討**

江幡 加齢による難聴は、自覚症状がなく、「なんか聞こえにくいなあ」程度から徐々に進行すると聞く。

WHOでは、41デシベルの中等度から補聴器装着を奨励しており、日本では70デシベル以上が聞こえない重度の難聴を対象に助成しているが、多くの自治体で中等度の難聴者への補聴器購入助成を行っている。

年齢の制限なく中等度の難聴者に対して補聴器購入助成をしてもらいたく、これからの取り組みを一緒に考え、より良い制度の実現に向けて、購入者が使い慣れるようにフォロワー体制も含めてお願いしたい。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

江幡 助成金額については近隣市町のように2、3万円では少ないと思うが、補聴器は購入後に調整が必要であり、費用もかかると思うため、半額助成で最大10万円は必要ではないか。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(江幡議員)



え ば た み つ よ し
江幡満世志 議員

町長 加齢での難聴発症者については、必要性を感じている。買い換えも含めて早くやるべきとの想いであり、施行するには持続可能な制度設計をした上で、補助金額等を決めなければならず、少しの猶予が必要。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

また、経年劣化による買い換えには助成は可能か。

「人生100年時代」に向けて

本町の見解・取り組みは

部長 生きがいをもてる地域づくりを目指す

宮川 「人生100年時代」が提唱された経緯は、

健康福祉部長 ある海外の研究において、日本で2007年に生まれた子どもの寿命が107歳になると推測されたことが根拠となっている。

その後、内閣府が開催した人生100年時代構想会議において、子どもから高齢者まで、すべての年代において学ぶことのできる生涯教育と活躍の場の必要性と併せ、国民全体が元気に活躍し続け、安心して暮らすことのできる社会をつくるための人材への投資が重要であるとの報告がされ、平成30年には人づくり革命基本構想がまとめられた。



みやがわもとひで
宮川基英 議員

高齢者の分野では、高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン、通称エイジフリーガイドラインが策定されている。

とりが望む生活を送ることができる地域づくりを目指している。

宮川 「人生100年時代」に向けた本町の見解

や今後の取り組みは。

健康福祉部長 高齢者の皆さんが、悔いなく豊かに過ごすことができるよう、介護予防として生活習慣病や重症化予防に取り組んでいただけるよう継続して呼びかけていく。

加えて、住民の誰もが、この大口町において健康で生きがいをもった生活を送り、自らの持てる能力や地域の支え合いにより、住民の皆さん一人ひとりが望む生活を送ることができると考えている。



人生100年時代



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(宮川議員)

一般質問

小中学生の不登校の現状と課題は

子どもたちの体験活動への支援は

部長 教育支援センターの体制を整える

大竹 現在の不登校児童・生徒への対応は。

大竹 子どもたち同士での体験活動や社会的自立、生活力向上の支援は。

大竹 不登校児童・生徒の居場所づくりの充実に向けた取り組みは。

生涯教育部長 担任を中心に電話や連絡帳によるコンタクトはもちろん、家庭訪問も定期的に行なっている。対象の児童・生徒の状況により別室登校を促し、適応指導教室につながる対応をしている。

生涯教育部長 小学校5年生、中学校2年生は自然体験活動(宿泊)を行っている。また、各学校で縦に割った異学年交流によりさまざまな活動を行い、上級生は下級生を導くスキルを、下級生は上級生にあこがれをもつなど、社会的スキルを身に付けることにつな

生涯教育部長 学校に来ることはできるが、教室に入ることができない児童生徒には、保健室や別室で学習の補填をし、教育相談も行っている。適応指導教室を教育支援センターとし、体制を整えていきたい。現在はGIGAスクール構想が進み、タブレット端末を使い動画視聴やドリル問題もしている。

をつけている。

を身に付けることにつな



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(大竹議員)



おおたけしんいち
大竹伸一 議員

令和7年度予算編成方針

**103万円の壁引き上げの影響は
部長約4億8千万円の税收減見込み**

丹羽 国の施策・事業が
地方財政に影響はないか。

丹羽 「103万円の壁
引き上げ」の影響を試算
しているか。

総務部長 町税

収入の依存度が高く、安
定した固定資産税の財源
により、今しばらくは財
政体力の維持が図られる
ものと思われる。

また、次代への備えと
して「財政調整基金の確
保」により町民が安心して
暮らせる行財政運営に
努める。

総務部長 年収

が103万円を超えると
所得税が生じる「年収の
壁」について、この額を
178万円に引き上げた
場合、本町では、約4億
8千万円の税收減が見込
まれるものと試算してい
る。

丹羽 「103万円の壁

引き上げ」が令和7年度
から施行された場合、新
年度予算への影響は。

総務部長 十分

な税收があると判断され
ると「不交付団体」の扱
いとなり、減収分は補填
されない可能性があるの
で、様々な行政サービス



にわ つとむ
丹羽 勉 議員

に影響が出るようになる。



YouTube
動画

R6.12定例会一般質問(丹羽議員)

自転車の交通安全対策 について (補助対象年齢の拡大) 佐名かよ子議員の質問

ヘルメット購入補助の対
象年齢については、愛知県
の補助制度に歩調を合わせ
るため、令和6年度もその
対象年齢に変更はなく、引
き続き自転車事故による死
傷者が多い年齢層へ集中的
に補助したいと考えている。

回答を受けて

ヘルメット購入補助の周知・啓発と、重大な自転車事故を
防ぐため、着用を促すさらなる取り組みをお願いしたい。

質問者の満足度

もっとがんばれ



1年前の一般質問 その後を

追跡!!



あれからどうなった?

令和5年12月定例会にて質問

グローバル研修事業 について

仙田王一議員の質問

グローバル研修は、今年
度の海外派遣事業に活かした。
シンガポールでは、ヤマザ
キマザック株式会社やシン
ガポール国立大学附属数理
学校など、大口町ならではの研修先で現地の人々と交
流を深め、帰国後の報告会
では、参加者各々が研修成果、
今後の目標を発表した。

回答を受けて

世界的メーカーに協力いただき有意義であったのでは。今後
も自身の人生、本町の発展のために継続し、夢のある事業へ!!

質問者の満足度

がんばれ



委員会レポート — 視察報告 —

議員活動は、定例会中に限りません。
閉会中には各委員会でも所管に関する
視察研修や研究をしています。

文教福祉常任委員会が県外行政視察、議会運営委員会が視察受け入れを実施

高齢化が進む中、人口減少による自治体の財政圧迫、人材不足などから福祉サービスの低下も懸念される。高齢者が健康であることは「予防福祉」となる。健康の維持には、健康を意識（心掛け）、社会活動への参加、そして生きがい（喜びや楽しみ）を感じることが良いと言われている。そうした観点から、より多くの町民のみなさまが健康に生活できる「予防福祉」に繋がる施策等について



豊中市社会福祉協議会ホームページ
→ 豊中あぐり

大阪府豊中市『豊中あぐり』視察 10月8日

先進地視察を参考にした政策の推進を



文教福祉常任委員会



の調査・研究が今年度のテーマである文教福祉常任委員会では、大阪府豊中市にある『豊中あぐり』を視察。「定年後の男性を孤立させない」男性の居場所と役割づくり」を模索する中で、農業を通して地域との関わりをも



活動紹介資料

ってもらおう仕組みづくりを構築し、現在では地域福祉活動やまちづくりに大きな貢献をしている。現状において「豊中あぐり」は、豊中市社会福祉協議会の中核団体となっている。本町においても、日々多くの団体が活動し、本町福祉やまちづくりに大いに貢献していただいているが、豊中市においては、そうした多くの団体（資源）をうまくコントロールして効率よく目的を実現しており、そのためのコーディネートが必要なと感じた。このような観点から、今年度のテーマに沿ってその在り方を考えていきたい。

ようこそ大口町へ

宮城県南三陸町議会 来庁 10月9日



南三陸町議会では、議会改革の一環としてペーパーレス化導入を控えており、本町の本会議・委員会での活用事例を参考にしたいとのことで、実際にタブレット端末の操作を体験していただいた。

来庁当時は、両町間で災害相互応援協定締結が進められている最中ということもあり、非常にご縁を感じるとともに、今後とも両議会の発展に向けて交流を深めていくことができればと思う。

その後、協定は11月12日をもって無事締結された。



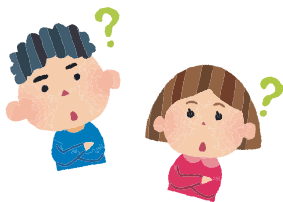
南三陸町議会の皆様とともに本町議場に



視察の様子

災害相互応援協定とは

両町が災害で被災した際に、「救援、防疫、応急復旧等に必要の職員の派遣」「食料、飲料水及び生活必需品並びにその供給にあたり必要な資機材の提供」「被災者の受入れ及び住宅のあっせん」「災害応急対策に必要な車両及び資機材の提供」等を行うものです。



「議員って何かはしてると思うけど、何をしているのかよくわからない」

そのようなお声をよく聞きます。「何を？」といわれると、一言では説明が難しいですが、その一部をお伝えできればと思います。

①



ふれあいまつり参加

あいにくの雨天でしたが、アンケートを実施し、120名の方々にご協力いただきました。

②



大口町消防観閲式出席

日々本町の安心安全を支えてくださる消防団員のみなさま方に敬意を表します。

③



西児童クラブ建設視察

建設中の西児童クラブの工事進捗状況を視察しました。工事は順調で、令和7年2月完成予定です。



議員って何をしているの？

令和6年11月～令和7年1月の主な活動です

月日	本会議・委員会など	内容(特記事項)
11月	2日 ふれあいまつり	ブース出展「議会アンケート」実施 ①
	9日 消防観閲式	来賓 ②
	10日 文化協会芸能発表会	来賓
	12日 西児童クラブ視察	③
	15日 総務建設常任委員会協議会	
	17日 ハートフルまつり	来賓
	19日	文教福祉常任委員会協議会
		学校給食試食会
		こども条例意見交換会
	22日	議会運営委員会
		全員協議会
		議会広聴広報常任委員会
12月	23日 大口町表彰式	来賓
	11/29～19日 第9回 定例会	議案審議ほか ⇒P.2～11 参照
	7日 愛知駅伝	激励 応援
	11日 総務建設常任委員会、協議会	委員会付託議案審議、請願・陳情の審査
	13日 文教福祉常任委員会、協議会	委員会付託議案審議、請願・陳情の審査
	15日 全国中学校駅伝大会	応援
	25日 全員協議会	
1月	26日 議会広聴広報常任委員会	議会だより243号校正
	12日 二十歳の集い	来賓
	13日 丹羽郡消防出初式	来賓
	14日 総務建設常任委員会視察	豊田市防災学習センター及び岡崎市役所
	16日 文教福祉意見交換会	
	20日 総務建設常任委員会協議会	
	22日 文教福祉常任委員会協議会	
	29日 全員協議会	

まちかどインタビュー

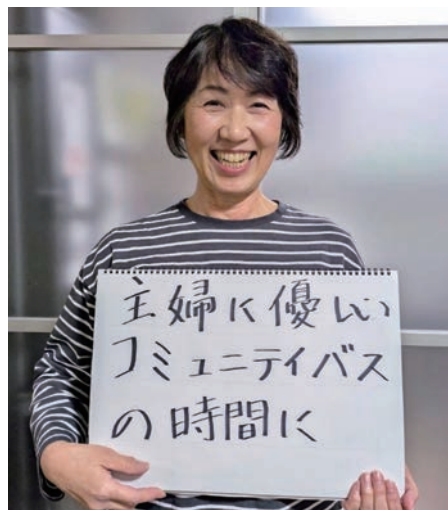
～大口町に期待することは?～

まちかどインタビューでは、毎号、住民の方から「大口町に期待すること」について、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



高齢化に伴って「免許の返納を」と言われるが、現在のコミュニティバスの運行では利用し難い。乗合タクシーのようなもっと利用しやすい移動手段の確保をお願いしたい。

(河合さん 外坪地区)



夕方のバスの時間が中途半端で買い物に使いづらい、主婦にも優しいコミュニティバスにして欲しい。

(酒井さん 上小口地区)

寄付行為の禁止



議員はお金やお酒等の寄付行為は禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いいたします。

会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



3月定例会予定

- 3月 4日(火) 開会・提案説明
- 6日(木) 一般質問
- 7日(金) 一般質問
- 11日(火) 議案質疑
- 12日(水) 議案質疑・委員会付託
- 14日(金) 総務建設常任委員会
- 18日(火) 文教福祉常任委員会
- 25日(火) 討論・採決・閉会

※日程は、変更になる場合があります。

【今月の表紙】

議長席から見た議員席の様子です。
定例会の様子はリアルタイムで映像配信されますが、傍聴も可能です。多くの方々に議場に足を運んでいただいて、緊張感を感じていただければ幸いです。また、近隣市町では珍しい楕円形でクラシカルな趣きのある議場もご覧ください。

発行責任者 議長 江口昌史
議会広聴広報常任委員会 委員長 松本佳子
副委員長 山崎卓美
委員 佐名かよ子
酒井一平
宮川基英
社本與志
江幡満志

12月定例会 No.243
令和7年1月23日



発行／大口町議会 編集／議会広聴広報常任委員会
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目15番地
TEL (0587) 95-1702(直通) FAX 95-1454
議会だよりは再生紙を使用しています。